

特定非営利活動法人 静岡市障害者協会

平成31年度（令和元年度）事業報告書

I 成果及び課題

A 成果

1	法人経営
<p>(1) 平成29年11月24日付で認定NPO法人に昇格し、2年4か月が経過する中で、「認定NPO」を継続発展させるために、下記（5）等に記載したコンプライアンス体制の整備に努めた。会員諸氏、諸団体、一般市民の方のご理解ご協力を得て、認定NPO法人に求められるパブリックサポートテストの水準をほぼ満たすことができた。</p> <p>平成31年度は74件、1,165千円の寄付を頂戴し、自主財源を確保することが出来た。なお、静岡市所管のNPO法人は336法人（令和2年3月末）、うち認定NPOは12法人、全体の3.57%とごく僅かである。</p> <p>(2) 当協会は、平成17年の任意団体としての発足以来、“Nothing About Us Without Us!”『私たち抜きに私たちのことを決めないで!』のモットーの下に、当事者目線を前提に実践し、この考えに基づき、様々な活動を展開し、静岡市における中核的な障がい者当事者団体の一つとして着実な歩みを重ねてきている。</p> <p>平成31年度においては、令和3年度を始期とする「静岡市共生のまちづくり計画」の策定準備が始まり、当事者団体等の意見集約の場として「静岡市共生のまちづくり計画」策定懇話会が組織され、同懇話会会長に当協会の牧野会長が就任した。同計画のアンケート素案の策定や、市の各当事者団体ヒアリングへの対応を互いに学び合う等の情報共有や交流により、相互のエンパワメントに努めた。</p> <p>障害者差別解消地域協議会については、静岡県の相談窓口（県社会福祉士会が受託）に牧野会長が班長として参画し、相談傾向等の概要を共有しノウハウを蓄積しつつあり、静岡市の共生のまちづくり計画には載っているもまだ設置されない地域協議会の設置を強く働きかけた。</p> <p>(3) 当協会は、静岡市より障害者相談支援推進センターとして基幹相談支援センターや虐待防止センター等の事業を受託している。これらの相談支援にかかる事業は、障がいがある児者の生活や人生にとっても重要な役割と責任を担っている。</p> <p>それに取り組む基本的な考えとして「どんな障がいがあっても取り残されない社会の実現」を高く目標に掲げる。これは2015年9月の国連サミットで採択された国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の基本的な理念となる、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現、に賛同することを意味する。平成31年度においては、静岡市の呼びかけに呼応し、法人として「SDGs宣言」を提出した。</p> <p>「津久井やまゆり園」における殺傷事件の社会全体の対応、新型コロナ禍での地域の絆の弱さ、社会の脆弱性が露呈する中で、ポスト新型コロナ社会とも呼ばれる、低成長の中での地域社会の関係性の再検討や、在宅ワーク、在宅学習等の進展による社会全体の働き方の変革の兆しが見えてきている。</p> <p>こうした動きが「最も弱い人を守る」ことから始めるためには、微弱な叫びをキャッチする各相談員の資質（想像力と感受性）と支える地域の仕組みが必要であり、事例から地域課題を抽出し、社会資源の整備につなげるという相談支援の原点を再認識する必要がある。</p> <p>こうした視点に立脚して、平成31年度は、地域課題で提出された「移動支援の充実」が地域生活支援部会のプロジェクトチームで検討されることになり、また同じく地域課題であった静岡市東部地区（由比・蒲原地域）の障害者相談支援の充実に資するよう、無料相談会が開催されている。</p>	

	<p>(4) 静岡市の福祉に関する附属機関や諸会議である、静岡市障害者施策推進協議会（委員）、静岡市障害者自立支援協議会（事務局の一部）、静岡市特別支援教育連携会議（委員）、成年後見制度利用促進協議会（委員）、共生の街づくり計画策定懇話会（会長）等へ参画した。 自立支援協議会の専門部会においては、新設の子ども部会の事務局として部会運営の基礎がためを行った。その他、権利擁護虐待防止部会、地域生活支援部会、地域移行支援部会（同WG）、就労支援部会に部会員として参画し活動を推進した。また相談支援部会と地域生活支援ネットワークまいむ・まいむの相談調整コーディネーターが連携し、市内全相談支援事業所の訪問を行い、課題の抽出に努めた。また、医療的ケア児等支援協議会は今年度新設され計3回開催された。会長は委員として参画し、実態調査が行われ現状の把握と課題が洗い出された。</p> <p>(5) 一昨年度、一般社団法人非営利組織評価センター（JCNE）によるアドバンス評価を受審し、指摘事項を改善に着手した。平成31年度（令和元年度）において、各項目を改善し、令和元年12月1日付けで同評価センターによる「グッドガバナンス認証」を得ることが出来た。この認証は静岡県初、全国では14番目であり、NPO法人に対する社会的客観的評価を先駆的が実施したことについて、新聞社の取材があった。またオルタナ誌（別冊）に掲載される等、当協会に対する認知度、評価が高まることにより様々な支援を呼び込む素地が出来た。</p>
--	--

2	<p>法人自主事業（委託事業の地域生活及び社会参加等推進事業と合同して実施）</p> <p>(1) 障害者プラン勉強会 10回の開催で延べ110人が参加。静岡市の障害者施策、差別解消、地域生活など幅広い内容をタイムリーに取り上げ、会員に対して情報の共有を行うことが出来た。後半は、次期共生のまちづくり計画の策定のための団体ヒアリングの対応について6回、集中的に取り組んだ。</p> <p>(2) 移動支援・バリアフリー委員会 引き続き、通学における移動支援制度の利用の個別協議、診察での通訳的な機能（コミュニケーション支援）の追加（精神障害を含む）、通所施設の送迎ニーズの高まり、緊急時のショートステイの送迎、医療的ケア児のスクールバスの利用の実現などについて取り上げた。本委員会は自立支援協議会の生活支援部会PTと並行する形で開催されており、一層の連携を目指す。また、公共交通機関での障害者差別解消と研修のあり方についても取り上げた。</p> <p>(3) 防災委員会・防災事業 月1回の防災委員会をベースに、参加型地域防災教育・活動による災害時要援護者住民支え合い支援体制モデルの確立事業への参画（県立短大江原准教授の研究事業）を継続し、関係する事業への協力、助言を行った。 ①西豊田学区地域支え合い体制づくり実行委員会へ事務局として出席（9回） ②牧之原市からの要請で自立支援協議会防災部会アドバイザーとして牧野が助言（6回） ③「事前避難」についてSBSテレビの取材を受け5月にSBSで放映、9月報道特集で放映 ④地域で取り組む要援護者支援のための宿泊防災訓練の実施（11月30～12月1日） ⑤災害時要援護者支援シンポジウム（新型コロナウイルス感染予防のため中止） ⑥静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練（主催：県ボランティア協会、2月）や避難所運営訓練（主催：静岡県危機情報課、11月）に派遣、協力 ⑦災害被災地の視察・現地での支援や関係機関（災害ボランティア団体など）の諸会議への出席、研修会への講師の派遣など とりわけ④の要援護者支援では、31年度に引き続き、避難所運営ゲーム「HUG（ハグ）」の図上訓練の手法を参考に、障がい者、または障がい者に扮した方が避難所に来所し、その場で必要な支援を考え、提供する等の実践的な訓練「リアルHUG」（3回目）を行った。</p> <p>(4) 共催事業・講師派遣・関係団体との協力 リワーク研究会、福祉教育、市社協各区地域福祉推進センター、県人権啓発センター等関係機関団体の主催する研修会、講演会、イベントの開催について、講師派遣、共催、講演等の協力を行った。心のバリアフリーイベントは新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。</p>
---	---

3	静岡市委託事業：静岡市障害者相談支援推進事業
	(1) 静岡市より、基幹相談支援センターの委託を受け、市内10箇所の委託障害者相談支援センターと連携の下、地域での困難事例の解決や地域課題の集積により、福祉サービスの不足や質の課題を抽出し、静岡市障害者自立支援協議会に提言した。 また、同協議会の各専門部会に参画し、強度行動障害者の研修の充実、通所事業所へのコンサルタント派遣事業の実施、障害者虐待の対応等の改善、障害者差別解消地域連携協議会の設置について提言した。
	(2) 静岡市障害者虐待防止センターとして、24時間対応を行うとともに、市に通報のあった障害者虐待案件のコア会議やケース会議に参画することで、当事者団体の視点で障害者虐待の防止、権利擁護に努めた。(通報・相談・対応件数90件、延べ人員54人(実人員30人))
	(3) 障害者110番事業においては、身体、知的、精神の各障害者相談員による相談日を週3回常設し、ピアカウンセリング的な立場から身近な相談場所として好評を得た。これらの活動が評価され、本年度は「障害者相談員活動強化事業」の拡充があり、身体障害者相談員、知的障害者相談員向けの研修、実績報告の取りまとめを行った。身体障害者相談員の欠員があり、当協会を推薦母体となって、車いす常用の方、視覚障害の方、難病の方が身体障害者相談員として市から委嘱された。また年度末には新たな欠員補充として、重症心身障害児者の保護者の方3名を知的障害者相談員として推薦した。
	(4) 社会福祉法の改正に伴う地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制の整備に向けて、相談員への研修や高齢者等他部門との連携を目的に“多職種との事例検討による目標指向型アプローチの視点に立った複合課題のアセスメントと家族支援研修”を開催した。(スーパバイザー：静岡福祉大学教授 増田樹郎氏)
	(5) 触法障害者の地域定着支援や再犯を防止するため取り組みとして、月に3回程度の金銭管理の個別支援のほか、静岡TSネットの活動に協力し静岡刑務所の見学及び意見交換会を行った。
4	静岡市委託事業：生活保護精神障害者退院支援業務（福祉総務課主管）
	(1) 精神科退院支援連絡会（地域移行支援部会ワーキンググループ）に参画し、退院支援の専任相談員3名と連携し、市内5病院に入院する生活保護受給者の把握及び対象者の抽出及び退院支援に努めた。
	(2) 生活保護受給者の事例については、「地域移行支援」の活用事例がなかったが、個別案件では、更生保護施設からの地域移行支援（2件）、精神科病院からの地域移行支援（1件）を行った。
5	静岡市委託事業：地域生活支援ネットワーク（まいむ・まいむ）相談調整コーディネーター配置業務
	(1) 社会福祉法人花園会が運営する、障害者支援施設・生活介護・放課後デイサービス・計画相談支援・居宅介護事業所等の複合施設である宮前ロッヂに1名の相談調整コーディネーターを派遣した。「相談支援体制機能の充実」及び「専門性」強化のための仕組みづくりの検討をし、人材育成研修として“多職種との事例検討による目標指向型アプローチの視点に立った複合課題のアセスメントと家族支援研修”を開催した。また、同法人が配置するサービス調整コーディネーターとの連携し、「地域生活支援拠点」の機能を地域の各事業所が担うこと（面的整備）の充実を目指して計画相談支援事業所に対して、長期化かつ困難な事例について連携し、解決の糸口を探る等2年目の目標をほぼ達成した。
	(2) 地域生活支援ネットワークの広報啓発のために関係事業所を訪問した。
	(3) 市民活動団体、自治会等との連携のために、静岡市地域福祉共生センター「みなくる」と協働し、映画会と「福祉のお店」のコラボレーションを企画した。

B 課題

1	協会の基本理念の再検討、明文化・制度改革への対応
	<p>(1) 協会の基本理念の再検討、明文化 当協会は、様々な障がい関係団体が大同団結していることで、行政や地域住民に一定の影響を持って施策の提言を行うことができる。</p> <p>(2) これまでは『私たち抜きに私たちのことを決めないで!』のモットーと「どんな障がいがあっても取り残されない社会の実現」という目標が、当協会の考えと姿勢を示している。</p> <p>(3) 静岡市が「地域共生のまちづくり計画」と命名した、いわゆる「障害者プラン」では「地域共生社会の実現」を提唱している。これは、国が、人口の少子高齢化の長期化に伴う地域の介護の担い手の減少や財政の逼迫化により、『地域のあらゆる住民が役割を持ち、互いに支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる社会を目指していることに呼応している。</p> <p>(4) ただ、現状の「地域包括ケアシステム」は高齢者主体であるので、障害側から働きかけ広がりを持たせるようにし、一層の地域住民の互助を推進し、介護、子育て、障害者、生活困窮者、家族支援等も地域社会で包括的に行うことを目指す方向性を持ちたい。特に8050問題が多発し始めたことをきっかけに関係部署、関係機関への働きかけを強化する必要がある。 『福祉は与えるもの、与えられるものといったような「支え手側」と「受け手側」に分かれるのではないという福祉パラダイムの転換』が実現しようとしている時、障がい福祉が改革の中に埋没しないように運動方針を明確にする必要がある。</p>
2	自主財源の確保
	<p>(1) 現在は、静岡市よりの委託事業費が全収入の93.8%を占めている。相談案件、困難事例の大幅な増加により、同行支援（寄り添い型支援）や触法障がい者の支援も大幅に増え、専門部会の事務局的な業務も増加し、事業活動経費も増大している。また独自事業や各団体との協働事業を充実させるには、自主財源の不足は否めない。</p> <p>(2) 認定NPOの決定を受け、当協会は正式に寄付金控除団体になったが、5年ごとの更新に備え、更なる広報活動に努める必要がある。また一般社団法人非営利組織評価センター（JCNE）が実施するアドバンス評価をクリアすることができ、グッドガバナンス認証マークが付与された。これは信頼性の証として、ウェブサイトや広報物に掲載する等により、活用することができることから、助成金の申請、ヤフー等のネット募金の活用や休眠口座の活用などの新しい動きの把握や寄付などが集まる仕掛けづくりに取り組み始めた。</p> <p>(3) 寄付金を多方面から頂けるようにするためには、全般的なアピールと同時に、特定テーマとその関係する層（セグメント）に絞った活動が必要だと考えている。触法系支援や成年後見人関係では弁護士、司法書士、社会福祉士であり、差別解消では民間事業所にも理解と支援をいただくような働きかけが適切だと考える。また、災害時の要援護者支援への取り組みもアピールする予定。</p>
3	広報啓発活動の強化・連携の確保
	<p>当協会は、自主事業の継続開催や障害者自立支援協議会の事務局機能の一部を果たすことにより、行政機関との協働関係を保ち、かつ当事者団体としての様々な提言を行っている。こうした活動を年間でまとめた成果物の作成と配布、ホームページでの発信等により、広く地域住民に協会の活動を周知する必要がある。また、今後、ホームページの更新を行い、わかりやすい発信を目指す。</p>
4	業務の繁忙化と業務省力化、人材の確保、世代交代について、基幹相談支援センターの役割の検討
	<p>委託相談支援事業の相談件数は848件で、個別支援会議が105件、虐待対応会議が33件あり、その他自立支援協議等の部会、プロジェクトチームやその他の会議も含めると、全職員が揃う日は皆無に近いのが実態である。加えて触法障がい者の入口支援等、緊急かつ集中的に取り組む必</p>

要のあるケースもあり、現体制では業務量が限界近くに達している。
 基幹相談支援センターの業務については、『地域生活支援拠点の面的整備（地域生活支援ネットワーク（まいむ・まいむ）』の設置を踏まえ、個別支援ケースは3年間程度の時間をかけ、委託相談支援事業所に移管することが検討され、当センターとしては、困難ケースの指導助言、地域の連携体制の強化、相談支援担当職員の実務研修の強化等について特化することが求められている。
 協会事業の次代を担う人材について、事業所間連携も視野に入れた人材の養成が課題となっている。

II 法人運営

1 総会の開催状況

開催日/場所	種類	審議内容	出席状況	議決状況
4月4日 静岡市中央福祉センター 31会議室	臨時総会	第1号議案 役員（監事）の選任について	30/38 (団体・個人)	全議案を承認
5月23日 静岡市中央福祉センター 大会議室	通常総会	第1号議案 定款の変更について 第2号議案 平成30年度事業報告並びに活動決算について 第3号議案 平成31年度事業計画並びに活動予算について 講演 「昨今の避難所の実態『障がい者は生活できる?』 ～被災地での支援活動と障がいのある人の状況～」 講師 松山文紀氏 (震災がつなぐ全国ネットワーク 事務局 局長 (当時) / 現・当協会職員)	33/38 (団体・個人)	全議案を承認
6月6日 静岡市中央福祉センター 32会議室	臨時総会	第1号議案 役員（理事）の選任について	32/38 (団体・個人)	全議案を承認
11月20日 静岡市中央福祉センター 大会議室	臨時総会	第1号議案 銀行からの借入（当座貸越500万円枠の設定）について 第2号議案 定款の変更（用語の調整）について	32/38 (団体・個人)	全議案を承認

参考：正会員数：38 内訳) 団体正会員：25 個人正会員：13

2 理事会の開催状況

回数	開催日	審議内容	出席状況	議決状況
1 (44)	5月 9日	審議事項 第1号議案 定款の変更について 第2号議案 30年度の事業報告及び活動計算書について 監査報告（飯塚理事） 第3号議案 31年度の活動計画及び予算案について 報告事項	8/9 出席監事 2名	全議案を承認

		<ul style="list-style-type: none"> ① 第15回通常総会の講演 ② 牧之原市障害者自立支援ネットワーク「(仮称)防災部会」のアドバイザーの派遣依頼への対応 ③ 旧優生保護法一時金支給法の周知 ④ 医療・福祉・司法なんでもかんでも相談会 		
2 (45)	5月23日	<p>審議事項</p> <p>第1号議案 臨時総会(6/6)に付議する事項について</p>	7/9 出席監事 1名	全議案を承認
3 (46)	9月5日	<p>審議事項</p> <p>第1号議案 次期「静岡市共生のまちづくり計画」への関わりについて</p> <p>第2号議案 寄付金キャンペーンについて</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 来年4月に開設される重症心身障がい者対応生活介護事業「びいーす」の開所 ② 文字サボ検定(要約筆記の講座と検定)の開催 ③ 施策推進協議会・自立支援協議会 ④ 今年度の事業の進捗状況(防災事業、移動支援・バリアフリー委員会、障害者プランの勉強会、委託事業) ⑤ 法人の運営関係 等 	6/10 出席監事 なし	全議案を承認
4 (47)	11月14日	<p>審議事項</p> <p>第1号議案 銀行の借入(500万円)枠の設定と臨時総会への上程について</p> <p>第2号議案 定款の変更(用語の調整)について(臨時総会への上程議案)</p> <p>第3号議案 職員にかかわる諸手続について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 元 理事の逝去 ② 清水地域精神保健福祉心明会の学習会の開催 ③ 施策推進協議会・自立支援協議会 ④ 今年度の事業の進捗状況(防災事業、移動支援・バリアフリー委員会、障害者プランの勉強会委託事業) ⑤ 法人の運営関係(静岡新聞愛の都市訪問の車両寄贈の内定) 	9/10 出席監事 2名	全議案を承認
5 (48)	3月24日	<p>審議事項</p> <p>第1号議案 令和2(2020)年度事業計画及び活動予算書について</p> <p>第2号議案 経理規程の制定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新型コロナウイルスの感染予防対策で清水区の企業より「エタノール液」の寄贈を受けたことの経緯(静岡市静岡手をつなぐ育成会と静岡県重症心身障害児(者)を守る会) ② 日本ケアラー連盟からの緊急アンケート ③ グッドガバナンス認証 ④ 公用車の受贈と旧公用車の無償譲渡 ⑤ 金銭管理契約の締結 	9/10 出席監事 なし	全議案を承認

- 参考 理事定数 6名以上15名以内・・・現状10名(会長1名、副会長4名を含む/途中、臨時総会で1名増員(補充)した)
 監事定数 2名以上 ・ ・ 現状 2名

3 わかば会(正副会長連絡調整会議)の開催状況

- ①出席者 会長、副会長(4名)、事務局長、経理担当事務局員
 ②開催日 8月29日、12月12日、3月5日(3回開催)
 ③協議事項 理事会に付議すべき事項、諸規定の改定、寄付金収入、契約、物品の購入の報告、職員人事、事業の進捗状況、報告、委託事業の状況、障害者施策の動向等

Ⅲ 協会自主事業

事業名	目的	内容
1 会員団体の連携および拡大事業	協会事業の安定した運営を図るため、障がい者団体等に入会を勧め、自主財源を確保する。	<p>1. 会員の拡大 正会員は1名の加入があった(年度末で24団体・10個人)。協力会員については16件31,000円の加入があった。</p> <p>2. 自主財源等の確保充実 (1) 寄付金 ・静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団「愛の都市訪問」より、自動車(トヨタ・シエンタ/車両価格2,001,340円)をご寄贈いただき、事業等で使用する公用車として活用する。 なお、これまで使用していた公用車(トヨタ・ラクティス)については、認定NPO法人生き生きネットワーク(当協会の協力会員団体)より譲受の希望があったため、無償で譲渡した。 ・非営利組織平面センターの実施する「グッドガバナンス認証」(全国で14番目)を前面に出した、寄付キャンペーンを実施した(12月)。その結果、年間を通して、現金74件1,165,000円をいただいた。</p> <p>3. 協会の情報発信 (1) ホームページの運営 協会を広く紹介することと会員発の情報提供を目的にホームページを開設し、広報している。 ・31年度のアクセス件数は約2,500件 開設から約32,000件 年間平均2,280件 ・随時ブログを更新し、定期的な情報提供に努めた。 ・静岡市市民活動支援システム(ポータルサイト)「ここからネット」にも情報を提供し、市民活動に関心があっても参画の手段のない一般市民に対する情報発信にも努めた。 (2) ホームページの全面更新に着手 ・職員の手作りでホームページを作成、更新してきたが、担当者や容量などの問題で、来年度、全面的に見直す予定</p>
2 会員団体への活動支援事業	研修等の事業を通して、会員団体の活動の充実に貢献する。	<p>1. 独自研修事業「障害者プランの勉強会」(全10回) 障がい者施策や障がい者を取り巻く事柄について研修、議論する場を設けた。原則、毎月第三水曜、会場は静岡市中央福祉センター。 31年度は、静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策定懇話会を中心にとりあげた。</p>

		<table border="1"> <tr> <td>第1回 4/17(水)</td> <td>・30年度の振り返りと31年度の企画について 10名</td> </tr> <tr> <td>第2回 6/19(水)</td> <td>・ビデオ視聴「SBSスペシャル 未完の避難 情報 南海トラフ地震立ちはだかる壁」 15名</td> </tr> <tr> <td>第3回 7/17(水)</td> <td>・「しずおか♡おでんジャー」の活動について (デモと説明) 15名</td> </tr> <tr> <td>第4回 8/21(水)</td> <td>・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会について 説明：牧野善浴(当協会会長) 15名</td> </tr> <tr> <td>第5回 9/18(水)</td> <td>・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 説明：牧野善浴 5名</td> </tr> <tr> <td>第6回 10/16(水)</td> <td>・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 説明：牧野善浴、堀越英宏(当協会事務局長) 10名</td> </tr> <tr> <td>第7回 11/20(水)</td> <td>・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 「団体ヒアリングの調査票の例」 説明：牧野善浴、堀越英宏 10名</td> </tr> <tr> <td>第8回 12/18(水)</td> <td>・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 「団体ヒアリングの調査票の書き方」 説明：牧野善浴、堀越英宏 10名</td> </tr> <tr> <td>第9回 1/15(水)</td> <td>・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 「団体ヒアリングの受け方と調査票の書き方」 説明：牧野善浴、堀越英宏 10名</td> </tr> <tr> <td>第10回 2/19(水)</td> <td>・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 「団体ヒアリングの結果報告」 説明：牧野善浴、堀越英宏 10名</td> </tr> </table>	第1回 4/17(水)	・30年度の振り返りと31年度の企画について 10名	第2回 6/19(水)	・ビデオ視聴「SBSスペシャル 未完の避難 情報 南海トラフ地震立ちはだかる壁」 15名	第3回 7/17(水)	・「しずおか♡おでんジャー」の活動について (デモと説明) 15名	第4回 8/21(水)	・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会について 説明：牧野善浴(当協会会長) 15名	第5回 9/18(水)	・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 説明：牧野善浴 5名	第6回 10/16(水)	・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 説明：牧野善浴、堀越英宏(当協会事務局長) 10名	第7回 11/20(水)	・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 「団体ヒアリングの調査票の例」 説明：牧野善浴、堀越英宏 10名	第8回 12/18(水)	・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 「団体ヒアリングの調査票の書き方」 説明：牧野善浴、堀越英宏 10名	第9回 1/15(水)	・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 「団体ヒアリングの受け方と調査票の書き方」 説明：牧野善浴、堀越英宏 10名	第10回 2/19(水)	・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 「団体ヒアリングの結果報告」 説明：牧野善浴、堀越英宏 10名
第1回 4/17(水)	・30年度の振り返りと31年度の企画について 10名																					
第2回 6/19(水)	・ビデオ視聴「SBSスペシャル 未完の避難 情報 南海トラフ地震立ちはだかる壁」 15名																					
第3回 7/17(水)	・「しずおか♡おでんジャー」の活動について (デモと説明) 15名																					
第4回 8/21(水)	・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会について 説明：牧野善浴(当協会会長) 15名																					
第5回 9/18(水)	・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 説明：牧野善浴 5名																					
第6回 10/16(水)	・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 説明：牧野善浴、堀越英宏(当協会事務局長) 10名																					
第7回 11/20(水)	・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 「団体ヒアリングの調査票の例」 説明：牧野善浴、堀越英宏 10名																					
第8回 12/18(水)	・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 「団体ヒアリングの調査票の書き方」 説明：牧野善浴、堀越英宏 10名																					
第9回 1/15(水)	・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 「団体ヒアリングの受け方と調査票の書き方」 説明：牧野善浴、堀越英宏 10名																					
第10回 2/19(水)	・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策 定懇話会での取組と団体ヒアリングの準備について 「団体ヒアリングの結果報告」 説明：牧野善浴、堀越英宏 10名																					
		<p>※5月分は総会の講演に振替、第11回(3/18)は新型コロナウイルス感染予防のため中止</p>																				
		<p>2. 防災関係事業</p> <p>今年度も、「西豊田学区地域支え合い体制づくり実行委員会」に参加し、事務局を担い、県社協のふれあい基金の申請、報告を行った。地域防災訓練に障がい当事者が参加するための取り組みを行った。</p> <p>(1) 防災委員会(全10回)</p> <p>構成：理事所属団体より選出された委員8名、学籍経験者、市社協職員が出席(行政職員は隔月出席)</p> <p>開催は以下のとおり。会場は中央福祉センター</p> <table border="1"> <tr> <td>第1回</td> <td>4/9(火)</td> <td>第2回</td> <td>5/7(火)</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>6/4(火)</td> <td>第4回</td> <td>7/2(火)</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>8/6(火)</td> <td>第6回</td> <td>9/10(火)</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>10/1(火)</td> <td>第8回</td> <td>11/5(火)</td> </tr> </table>	第1回	4/9(火)	第2回	5/7(火)	第3回	6/4(火)	第4回	7/2(火)	第5回	8/6(火)	第6回	9/10(火)	第7回	10/1(火)	第8回	11/5(火)				
第1回	4/9(火)	第2回	5/7(火)																			
第3回	6/4(火)	第4回	7/2(火)																			
第5回	8/6(火)	第6回	9/10(火)																			
第7回	10/1(火)	第8回	11/5(火)																			

		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">第10回 1/7(火)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">第11回 2/4(火)</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※第9回(12月)と第12回(3月)は中止</p> <p>(2)西豊田学区地域支え合い体制づくり実行委員会の事業に協力</p> <p>①実行委員会に出席(全9回) 5/24、7/26、8/23、9/28、10/25、11/11、11/22、1/24、2/19</p> <p>②事務局として、県社協のふれあい基金の申請、報告を担当 別会計にて決算 収入300,140(助成金、寄付金) 支出300,140</p> <p>③宿泊防災訓練「第6回静岡市駿河区西豊田イカルジブ 防災活動：豊中体育館でリアルな避難所生活を体験しよう」 日時：11月30日(土)14時～12月1日(月)12時 会場：静岡市立豊田中学校 体育館 参加者：1日目170名、宿泊64名、2日目160名</p> <p>④災害時要援護者支援シンポジウム 3月7日(土)開催予定をコロナ対応のため延期</p> <p>⑤打合せ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ防災についてNHK厚生文化事業団と打合せ(4/24、10/25：会長) ・リアルHUGの打合せ(11/14：会長) <p>(3)静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練(主催：県ボランティア協会)に協力</p> <p>①訓練(職員) 日時：2月21日(金)～22日(土) 会場：常葉大学静岡草薙キャンパス 参加者：294名</p> <p>②ワーキンググループの諸会議に出席(職員) 7/18・21・31、8/13・23、9/2・18、10/2・15・29、12/11、1/8、2/5、3/9</p> <p>(4)避難所運営訓練(主催：静岡県危機情報課)に協力</p> <p>①訓練当日への協力(会長、事務局長、職員) 日時：11月8日～9日 会場：静岡市立葵小学校 その他：要配慮者の3人(身体(車イス・視覚)、精神)と要配慮者役1人(当協会事務局長)の参加を調整</p> <p>②事前打合せ等へ出席(職員) 7/23、8/13・15、9/4・17・19・25・30、10/3・8・25・28、11/7・26</p> <p>(5)その他</p> <p>①災害被災地の視察・現地での支援(職員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県武雄市、大町町(豪雨災害被災地支援)を訪問(9/8-12・22-24) ・千葉県鋸南町(台風15号の被災地支援 9/30-10/1) ・愛知、長野、東京、宮城県丸森町、福島県いわき市(台風19号被災地支援(会議、後方支援を含む) 10/16-24、11/18-22、12/20-22) <p>②関係会議・打合せへの出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要配慮者名簿の再登録について福祉総務課と打 	第10回 1/7(火)	第11回 2/4(火)
第10回 1/7(火)	第11回 2/4(火)			

		<p>合せ（4/24：会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜松市防災学習センターを訪問（7/11：職員） ・被災地支援活動の有志の会「茶の国会議」に出席（8/20：職員） ・風水害空振り表彰評価委員会（主催：株コアクト）に出席（9/4：事務局長、職員） ・災害ボランティアネットワーク委員会（主催：県ボランティア協会）に出席（9/20、10/28：職員） ・東伊豆地域の台風被害への支援に関する打合せ（主催：静岡県ボランティア協会）に出席（9/27：職員） ・南海トラフ地震に備えた災害ボランティアネットワーク（主催：静岡県ボランティア協会）の会議として、内閣府主催の三者（行政、社協、NPO）連携訓練に出席（12/09：職員） ・COACTパイロット事業（福祉事業所の避難準備行動について）評価委員会に出席（12/16：事務局長） ・静岡県災害ボランティア本部・情報共有会議（主催：静岡県災害ボランティア本部・情報センター）に出席（3/5：職員） <p>③マスコミ取材・会員団体への協力など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告、事前避難についてSBSテレビの取材を受ける（4/19：会長、職員） ・避難所体験（主催：静岡市静岡手をつなぐ育成会施設部）に協力（11/17：職員） <p>3. 移動支援・バリアフリー委員会（全10回）</p> <p>移動支援事業を利用者にとって使いやすいものにするための場であり、各分野と定期的な意見交換を図る。31年度も引き続き公共交通機関のバリアフリー、移動支援制度では個別支援以外の車両移送型やグループ型による支援の検討などに取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成：理事所属団体等より選出された委員15名、行政職員 ・開催日及び主な内容は以下の通り。会場は中央福祉センター <table border="1" data-bbox="660 1424 1422 2065"> <tr> <td data-bbox="660 1424 823 1503">第1回 4/25(木)</td> <td data-bbox="823 1424 1422 1503"> <ul style="list-style-type: none"> ・30年度の振り返りと31年度の企画について ・情報提供 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="660 1503 823 1581">第2回 6/27(木)</td> <td data-bbox="823 1503 1422 1581"> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者福祉施策の会議体系について ・静鉄電車のバリアフリーについて </td> </tr> <tr> <td data-bbox="660 1581 823 1787">第3回 7/25(木)</td> <td data-bbox="823 1581 1422 1787"> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のバリアフリーについて テーマ：東京でのバス乗車体験（報告） 報告：小久江寛氏（Nひまわり事業団理事長） ・移動支援について 施策推進協議会と自立支援協議会での検討状況 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="660 1787 823 1944">第4回 8/22(木)</td> <td data-bbox="823 1787 1422 1944"> <ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について 行政説明「障害者施策推進協議会における移動支援制度の利便性の向上について」 ・公共交通のバリアフリーについて </td> </tr> <tr> <td data-bbox="660 1944 823 2065">第5回 9/26(木)</td> <td data-bbox="823 1944 1422 2065"> <ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について 検討経過と課題について ・公共交通のバリアフリーについて </td> </tr> </table>	第1回 4/25(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・30年度の振り返りと31年度の企画について ・情報提供 	第2回 6/27(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者福祉施策の会議体系について ・静鉄電車のバリアフリーについて 	第3回 7/25(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のバリアフリーについて テーマ：東京でのバス乗車体験（報告） 報告：小久江寛氏（Nひまわり事業団理事長） ・移動支援について 施策推進協議会と自立支援協議会での検討状況 	第4回 8/22(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について 行政説明「障害者施策推進協議会における移動支援制度の利便性の向上について」 ・公共交通のバリアフリーについて 	第5回 9/26(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について 検討経過と課題について ・公共交通のバリアフリーについて
第1回 4/25(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・30年度の振り返りと31年度の企画について ・情報提供 											
第2回 6/27(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者福祉施策の会議体系について ・静鉄電車のバリアフリーについて 											
第3回 7/25(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のバリアフリーについて テーマ：東京でのバス乗車体験（報告） 報告：小久江寛氏（Nひまわり事業団理事長） ・移動支援について 施策推進協議会と自立支援協議会での検討状況 											
第4回 8/22(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について 行政説明「障害者施策推進協議会における移動支援制度の利便性の向上について」 ・公共交通のバリアフリーについて 											
第5回 9/26(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について 検討経過と課題について ・公共交通のバリアフリーについて 											

		<ul style="list-style-type: none"> ①乗車拒否の対応について ②協議の場づくりのための準備
		<p>第6回 10/24(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について ①検討経過と課題について、②他都市の研究 ・公共交通のバリアフリーについて 〔障害者プランの策定との関係〕 ①他都市の「計画」、②団体ヒアリングでの要望など
		<p>第7回 11/28(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関のバリアフリーについて ①しずてつぎ YSTライクの職員研修とDPIの関係 説明：大川速巳氏（N）ひまわり事業団 ②今後の対応の方向について意見交換 ・移動支援について
		<p>第8回 12/26(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関のバリアフリーについて ①しずてつぎ YSTライクのマナー研修の現状報告 報告：ひまわり事業団 ②今後の対応の方向について意見交換 ・移動支援について
		<p>第9回 1/23(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関のバリアフリーについて ①しずてつぎ YSTライクのマナー研修について ②今後の対応の方向について意見交換 ・移動支援について提案の検討
		<p>第10回 2/27(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関のバリアフリーについて ①しずてつぎ YSTライクのマナー研修について ②今後の対応の方向について意見交換 ・移動支援について提案の検討
		<p>※5月は総会の講演に振替、第11回（3/26）は新型コロナウイルス感染予防のため中止</p>
3	障がい者福祉及び啓発事業	<p>障がい者福祉について市民に啓発し、理解を広める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種団体と連携し、啓発的な事業に協力する。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 会員への広報啓発、相互協力 ①次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策定懇話会、団体ヒアリングへの協力（調査票の作成支援など） 助言：1/30 静岡市肢体不自由児者父母の会、1/31NPO 法人サンフォレスト ②静岡市視覚障害者協会の暗所支援眼鏡を日常生活用具の助成対象にする働きかけへの協力（3月） 2. 静岡市主催の事業への協力 <ul style="list-style-type: none"> (1) 心のバリアフリーイベント関連 ①実行委員会に出席（5/29、9/2） ②弁護士相談の開催について県弁護士会と連絡調整 ※イベント（3/28）は新型コロナウイルス感染予防対策のため中止
4	スポーツ及び文化活動への促進事業	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害者スポーツ大会などへの支援と助言 全国障害者スポーツ大会の市選手団長に大塚康夫氏（静岡市清水社会福祉事業団理事長）を推薦する 2. 文化活動への支援と助言 <ul style="list-style-type: none"> (1) 第34回障害者による書道・写真全国コンテスト（戸山サンライズ主催）応募の取りまとめ

		<p>応募：書道の部29点、写真の部1点 成績：銀賞1点（書道） (2) シニアクラブ葵区・駿河区合同作品展（シニアクラブ静岡市主催）の応募の取りまとめ（11/19-24 搬入、展示、撤収を含む） 応募：3団体（22点）・内容：絵画・書道</p>
5 認定特定非営利活動法人としての取り組み	協会の安定した運営や社会的な信頼の向上のため、事業評価等、外部からの評価を積極的に受ける。	<p>1. 非営利組織評価 (1) グッドガバナンス認証 非営利組織評価センターの非営利組織評価（アドバンス評価）を受け、12月11日付でグッドガバナンス認証を得た。 9月に前年度の調査での指摘事項を聴き、中長期計画の策定、会員アンケートの充実、借入金の金融機関からの融資等の改善に取り組んだ結果が評価された。 この認証は評価を通して、法令順守や健全な団体の運営を行っていることの証明するものであり、いわば『非営利組織の信頼の証し』である。 当協会は全国で14番目、静岡県内で初の認証団体となった。 (2) 雑誌「オルタナ」別冊への投稿・掲載 非営利組織評価センターの推薦で、雑誌「オルタナ」別冊「わがパーパス」（2/28発行）に協会の存在意義の記事を投稿、掲載（執筆料30万円は今回のグッドガバナンス認証で無償）</p>
6 その他の事業	会議、委員会等への参加及び連絡調整等の事務、業務	<p>1. 公的な会議、委員会への参加等 (1) 静岡市関係（詳細は「IV 静岡市障害者相談支援推進業務」を参照） ①障害者施策推進協議会に出席（副会長、事務局長が委員） ②障害者自立支援協議会に出席（副会長が委員、会長・事務局長は事務局） ③静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策定懇話会（会長が委員） ④障害支援区分（非定型）審査会に出席（事務局長が委員） ⑤特別支援教育連携協議会に出席（会長が委員） ⑥静岡市福祉有償運送運営協議会に出席（職員が委員） (2) 静岡市社会福祉協議会関係 ①理事会に理事として出席（6/13・28、1/21、3/17：会長） ②ボランティア・市民活動センター運営協議会に出席（8/7：事務局長） ③地域福祉推進委員会に出席（葵区7/30、2/12：職員） ④静岡ふれあい広場に出席（実行委員会5/27、7/11、8/8、9/5、10/4、参加団体連絡会8/16：職員） ※本番は台風接近のため中止 ⑤災害ボランティア本部運営協議会に出席（11/28：職員） ⑥静岡市社協災害ボランティアセンター立ち上げ訓練に出席（12/15：職員） ⑦市民交流まつりin中央福祉センター（本番2/15、実行委員会実行委員会12/2、2/4、反省会3/23：職員） (3) その他 ①静岡市視覚障害者協会の総会に出席（4/14：会長） ②NPO法人ひまわり事業団関連（会計監査5/27、理事会</p>

		<p>5/10、9/27、11/22、1/24、打合せ 7/22、8/20、9/25、11/18、1/22、3/23、3/26：会長）</p> <p>③NPO法人びゅあの理事会に出席（11/6：事務局長）</p> <p>④NPO法人サンフォレスト理事会・総会に出席（12/14、3/7：事務局長）</p> <p>⑤社会福祉法人ラルシュかなの家の理事会に出席（1/18、3/28：事務局長）</p> <p>⑥社会福祉法人ハルモニアの理事会に監事として出席（2/22：事務局長）</p> <p>⑦番町市民活動センター関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「番町学園祭」に出席（10/20：事務局長、職員） ・座談会ライブ♪ 誰もが輝いて生きる!～SDGs を考えるに出席（1/19：事務局長） ・拡大運営会議に出席（2/20：事務局長） ・入居団体連絡会議に出席（6/20、11/7：事務局長、職員） <p>⑧清水市民活動センター利用団体連絡会に出席（9/20、2/22：職員）</p>
--	--	---

IV 静岡市障害者相談支援推進業務（静岡市委託事業）

事業名	目的	内容
1 静岡市障害者相談支援推進事業の整備、企画、推進	障害者相談支援推進事業として、基幹相談支援センター事業と障害者相談支援推進事業を運営するための体制を整備し、事業を企画、推進する。	<p>1. 本事業の運営の体制整備、企画、推進</p> <p>(1) 業務の体制整備</p> <p>①開所日：240日（土、日、祭日、年末年始を除く）</p> <p>②開所時間：原則9時～17時</p> <p>③人員：8名（うち、管理者1名、相談支援専門員4名、社会福祉士3名、介護福祉士1名、社会福祉主任任用資格4名：重複あり）</p> <p>(2) 基幹相談支援センター関係の企画・推進</p> <p>①総合的・専門的な相談支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的・専門的な相談支援 ・困難事例への対応 ・個別支援計画の作成支援等 ・個別支援会議の実施 <p>②地域の相談支援体制の強化の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の相談機関への助言・指導 ・地域の相談支援事業者の人材育成支援 ・全体会議の運営 ・区の調整会議の運営支援 ・自立支援協議会の運営への協力 ・地域の相談機関との連携強化 <p>③地域移行・地域定着の促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設等関係機関とのネットワーク作り <p>④権利擁護・虐待の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度利用の支援 <p>(3) 障害者相談支援推進事業の企画、推進</p> <p>①障害者110番事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三障がいごとに選任された障害者相談員が、事務所にて相談

		<p>対応を担当</p> <p>②身体障害者補助犬相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県補助犬支援センターに事業助成して実施 ・月次報告を受理 <p>③地域生活及び社会参加等推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心のバリアフリーイベントの企画への協力 <p>(4) その他</p> <p>①牧之原市の自立支援協議会の防災部会にアドバイザーとして協力(5/16、7/26、9/19、11/21、1/16、3/17、打合せ7/10：会長)</p> <p>2. 障がい福祉に関わる関係機関の連携強化と支援体制の整備促進</p> <p>(1) 心のバリアフリーイベント【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会に出席(5/29、9/27：会長、職員) ・弁護士無料相談ブースの調整を県弁護士会と行う <p>※イベント(3/28)は新型コロナウイルス感染予防対策のため中止</p> <p>(2) 行政関係(静岡市)の会議への出席</p> <p><障害福祉企画課関係></p> <p>①障害者施策推進協議会に出席(7/12、10/31、2/6：事務局長、会長及び職員が傍聴、打合せ6/20、10/18、1/22：会長、事務局長)</p> <p>②静岡市共生のまちづくり計画策定懇話会に出席(8/9、9/6、9/18、10/2：会長、団体ヒアリング1/23：会長、事務局長、事前打合せ8/8、9/4、9/13、10/1、11/18：会長)</p> <p>③静岡市医療ケア児等支援協議会(要綱設置)に出席(6/18、9/3、11/11、2/6：会長、打合せ4/4：会長、医療的ケア児コーディネーターと地域生活支援コーディネーターの違いについて障害福祉企画課に説明4/25：会長、事務局長、医療的ケア児等支援コーディネーターの配置と人選について障害福祉企画課と協議1/31：会長)</p> <p>④通学における移動支援個別検討会議に出席(10/4、2/12、2/14：会長)</p> <p>⑤入所児童地域移行等支援会議に出席(9/4：会長)</p> <p>⑥非定型審査会に出席(4/16、5/21、6/16、7/21、8/21、9/20、10/24、11/20、12/19、1/22、2/26、3/25、委嘱状伝達式4/8：事務局長)</p> <p><福祉総務課関係></p> <p>成年後見制度利用促進協議会に出席(5/20、7/5、9/24、11/26：会長)</p> <p><保健予防課関係></p> <p>難病患者介護家族リッパ事業の就学支援事業(特別支援学校での人工呼吸器の支援)の意見交換会に出席(3/24：会長)</p> <p><教育委員会関係・その他></p> <p>①特別支援連携会議(市教委主催)の自立支援部会に出席(7/22、11/7：会長)</p> <p>②歯と口腔の健康づくり推進会議(健康づくり推進課主催)に出席(6/26、9/20：会長)</p> <p>③障がい者歯科保健推進会議(障害者歯科保健センター主催)</p>
--	--	--

		<p>に出席（8/22、1/23：会長）</p> <p>③市福祉有償運送運営協議会に出席（2/28：職員）</p> <p>（3）機関等の会議への出席</p> <p>＜市社会福祉協議会関係＞</p> <p>①清水区暮らし・しごと相談センター生活困窮者支援調整会議に出席（5/24、6/28、7/26、8/23、9/27、10/25、11/22、12/21、1/27、2/24、3/27：事務局長、職員）</p> <p>②医療・福祉・司法なんでもかんでも相談会（銀さら勉強会主催）に出席（6/8、9/14、11/9、2/1：事務局長）</p> <p>＜司法関係（弁護士会、司法書士会など）＞</p> <p>①成年後見の相談関係の三士会（弁護士会、司法書士会、行政書士会）と相談機関の打合せに出席（8/28：会長）</p> <p>（4）差別解消への取り組み</p> <p>＜静岡県障害者差別解消窓口（静岡県社会福祉士会が受託）への協力＞（担当は会長）</p> <p>①県障害者差別解消相談窓口で相談担当として出席（4/9・23、5/7・21、6/4・5・11・26、7/2・16・23、8/26・13・20、9/3・24、10/1・15・29、11/5・19、12/317、1/7・21・22、2/4・18、3/3・31）</p> <p>②障害者差別解消事例検討会に出席（8/19、3/13・24、合同研修会12/9）</p> <p>③障害者差別解消県民会議（県主催）に出席（9/6）</p> <p>④差別解消セミナーに出席（12/9）</p> <p>（5）その他</p> <p>①障害者就職面接会（主催：静岡労働局）に相談ブース参加（9/13：職員）</p>
<p>2 基幹相談支援センター事業</p>	<p>総合的・専門的な相談支援、相談機関職員の育成、困難事例への対応、相談支援事業者に対する支援・助言を行なう。</p> <p>自立支援協議会に協力して課題の解決や福祉の向上に努める。</p>	<p>1. 総合的・専門的な相談支援の実施</p> <p>（1）総合的・専門的な相談支援事業</p> <p>①常設窓口（月～金曜日 午前9時～午後5時）</p> <p>②相談件数 計848件（市内826、市外15、不明7）</p> <p>③障がい種別 身体42件（肢体15、内部6、聴覚1、視覚12、重複：肢体と内部3、その他2、不明3）、知的406件、精神163件、重心2件、発達34件、高次脳2件、重複191件、その他3件、不明5件</p> <p>（2）困難事例への対応</p> <p>①対応件数 564件</p> <p>②主なケース</p> <p>a.身体・精神障がい者への支援 独居の重複（知的・精神・難病）障がいのある方の支援（傾聴、関係機関との連携など）</p> <p>b.触法障がい者への支援 累犯障がい者の出所後の生活支援</p> <p>c.発達障がい者への支援 発達障害の子どもを持つ母親への支援（傾聴、助言など）</p> <p>③ケース会議への参加及び助言・支援</p> <p>・個別支援会議参加 138回</p>

		<p>2. 地域の相談支援体制の強化の取組</p> <p>(1) 地域の相談機関への助言・指導 159回</p> <p>①相談支援センターの相談支援の質の向上の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難ケースへの同行、ケース会議への同席 <p>(2) 地域の相談支援事業者の人材育成支援 37回</p> <p>①相談支援職員研修会の実施</p> <p>(強度行動障がい者支援施設サポート事業事例検証会、障害者虐待防止研修会、障害者相談員障害別研修会(知的障がい:10/12のみ)と同時開催)</p> <p>日程:講演会/10月11日(金)</p> <p>ワークショップ/2月19日(水)</p> <p>会場:静岡市地域福祉共生センター「みなくる」</p> <p>内容:・事例紹介(10/12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演(10/12) 「発達障害の特性と支援」 「フレームワークを活用したアセスメントとプランニング」 ・ワークショップ(2/19) <p>講師 水野 敦之 氏(自閉症支援・コンサルタント)</p> <p>参加者:200名(10/12)、60名(2/19)</p> <p>②強度行動障がい者支援施設サポート事業研修会</p> <p>穴原荘およびわらしな学園で実施された事業に職員が参加(8/22-23)</p> <p>③障害福祉企画課との打合せ等(4/11、9/25、12/6)</p> <p>(3) 全体会議の運営</p> <p>自立支援協議会の実働部隊として各区で開かれる相談支援センターを中心とした連絡調整会議として、グループワーク等を通して困難事例・課題などを検討した。</p> <p>①第31回(平成31年度第1回)全体連絡調整会議</p> <p>日時 6月25日(火) 13:30~15:00</p> <p>会場 静岡市中央福祉センター 大会議室</p> <p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回静岡市障害者自立支援協議会に向けた各専門部会の活動状況等について ・地域課題について ・高次脳機能障害チェックリストの説明 ・参加機関団体からの連絡事項 <p>※自立支援協議会相談支援部会と同日開催</p> <p>②第32回(平成31年度第2回)全体連絡調整会議</p> <p>日時 12月24日(火) 13:30~15:30</p> <p>会場 静岡市中央福祉センター 大会議室</p> <p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回静岡市障害者自立支援協議会に向けた地域課題・各専門部会の活動状況等について 委託相談支援事業所の在り方など ・災害時要支援者の避難所避難と相談支援事業所の役割について ・参加機関・団体から情報提供 <p>※自立支援協議会相談支援部会と同日開催</p>
--	--	---

		<p>(4) 行政区の連絡調整会議の運営支援 各相談支援事業者の困難事例、課題について検討した。各区の自立支援協議会として就労継続支援の更新審査を実施。</p> <p>①各区連絡調整会議事務局会議への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題：就労継続支援更新審査 困難事例への支援策検討等 問題解決策の検討 ・開催日時及び会場 <p>〔葵 区〕 (城東福祉エリア) 第1回 4/ 9、第2回 5/14、第3回 6/11、 第4回 7/ 9、第5回 8/13、第6回 9/10、 第7回 10/ 8、第8回 11/12、第9回 12/10、 第10回 1/14、第11回 2/10、第12回 3/10</p> <p>〔駿河区〕 (駿河区役所) 第1回 4/ 6、第2回 5/14、第3回 6/11、 第4回 7/ 9、第5回 8/ 6、第6回 9/10、 第7回 10/15、第8回 11/12、第9回 12/10、 第10回 1/14、第11回 2/15、第12回 3/10</p> <p>〔清水区〕 (清水区役所) 第1回 4/10、第2回 5/ 8、第3回 6/12、 第4回 7/ 5、第5回 8/14、第6回 9/11、 第7回 10/ 9 第8回 11/13、第9回 12/11、 第10回 1/ 8、第11回 2/12、第12回 3/11</p> <p>※3月は新型コロナウイルス感染予防のため、就労継続支援更新審査のみ実施</p> <p>②各区連絡調整会議への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題：事例報告と意見交換 等 ・開催日時及び会場 <p>〔葵 区〕 4/9、5/14、6/11、7/9、8/13、9/10、10/8、 11/12、12/10、1/14、2/10 会場：城東福祉エリア</p> <p>〔駿河区〕 4/16、5/14、6/11、7/9、8/6、9/10、10/15、 11/12、12/10、1/14、2/15 会場：駿河区役所</p> <p>〔清水区〕 4/10、5/8、6/12、7/5、8/14、9/11、10/9、 11/28、12/11、1/8、2/12 会場：清水区役所 (11/28はこころの健康せまー)</p> <p>(5) 地域の相談機関との連携強化</p> <p>①静岡労働局 (ハローワーク静岡・清水) との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労ワンストップ相談窓口の対応 <p>葵 区 4/18：0件、5/16：1件、6/20：0件、 7/18：0件、8/15：1件、10/17：1件、 12/19：1件、2/20：0件 年間計 4件</p> <p>清水区 4/24：0件、5/22：0件、6/26：1件 7/24：0件 年間計 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者就職面接会に出席 (9/13：職員) (再掲) ・就労ワンストップ相談の今後の方針について、ハローワーク職員、障害福祉企画課と打合せ (5/13：会長、職員)
--	--	---

		<p>②研修等への講師としての参加・協力</p> <p><障害福祉企画課関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所の新任職員研修（地域移行：5/31：事務局長） <p><健康づくり推進課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録歯科医研修（テーマ：障害者の福祉とサービス）（9/12：会長） <p><民生委員関係：市社協、福祉総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・葵区民生委員児童委員協議会の障害者部会の研修会（テーマ：災害時の要援護者支援について）（7/19：会長） <p><市社協関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡市社協駿河地域福祉推進センター主催の地域福祉推進のための市民講座（2/11、打合せ 1/30、2/10：職員） <p><特別支援学校関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡北特別支援学校の進路勉強会（テーマ：相談支援の現場から見た児童・青年期から準備する「生活力」）（2/21：事務局長） <p><静岡県関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県人権啓発センター主催の静岡県人権啓発指導者養成講座（7/18：会長） ・医療ケア児等支援コーディネーター研修（12/4-5：ファシリテーター：会長、職員） ・県手をつなぐ育成会主催の静岡県知的障害相談員研修会（テーマ：地域生活支援拠点の推進）（1/18：事務局長） ・県主催の重症心身障害児者支援スキルアップ研修（2/13：ファシリテーター：会長） <p><災害・防災関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・島田市社協他主催の防災講演会（7/19、9/10：職員） ・浜松市の放課後デイサービスの職員研修（7/19：職員） ・浜松市のはま防～家主催の宿泊防災訓練（9/14-15、打合せ 7/25、8/20、9/5：職員） ・市ろうあ協会南部ブロック講演会（テーマ：障害者と防災）（9/21：会長） ・三遠南信災害ボランティアコーディネーター研修会（9/21：職員） ・湖西市災害ボランティアコーディネーター養成講座（11/24：職員） ・日本小児診療多職種研究会主催の第8回日本小児診療多職種研究会のシンポジウム（テーマ：災害時における医療的ケア児の多職種連携）（2/1：シンポジスト：会長） <p>○事業所・団体等からの依頼による講師</p> <p><テーマ：虐待防止></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駿府養会特別養護老人ホーム「はちかや園」職員虐待防止研修会（5/10・17：事務局長） ・わらしな学園職員向け虐待防止研修（10/1：事務局長） <p><テーマ：差別解消></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大道芸ワールドカップのノーマライゼーションスタッフ研修会（9/29：事務局長） <p><テーマ：その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡市ひきこもり相談支援センターDANDANの職員研修（テーマ：静岡市における障害福祉の展開について）
--	--	---

		<p>(10/15：事務局長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山サミット in Shizuoka (津久井やまゆり園の事件について) (12/15：パネラー：事務局長) ・社会福祉法人かなの家職員研修会 (テーマ：障害福祉サービスを行う上での社会福祉制度の概要) (1/29：事務局長) ・障害特性の理解についてレクチャー (主催：わくわくキャンプ実行委員会) (1/31：事務局長) <p>④研修等の受講・講演会の出席</p> <p><相談支援関係・三障害共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国基幹相談支援センター強化研修会を受講 (7/29-30：職員) ・相談支援従事者指導者養成研修を受講 (9/11-13：堀越) ・「福祉を考えるキリスト者ネットワークしずおか」講演会に出席 (11/2：事務局長) <p><身体障がい関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員実地研修 (菊川市清松園) に出席 (4/15, 6/17：職員) <p><知的・発達障がい・重心関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいを考える会 (主催：きらり) に出席 (4/26, 6/21, 11/27：事務局長, 職員) ・かかりつけ医発達障がい対応力向上研修会 (主催：きらり) に出席 (7/26, 8/9：事務局長) ・成人期発達障害事例検討会 (主催：きらり) に出席 (7/30：事務局長) <p><精神障がい関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルコール依存症ホスピタリティに出席 (5/17：職員) ・リワーク研究会に出席 (8/23：事務局長) <p><触法障がい者関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・刑事司法と福祉の協働シンポジウム (静岡県弁護士会主催) に出席 (6/15：会長, 事務局長) ・東京・武蔵野エリアT Sネットのセミナー (Panda-J 主催) に出席 (9/1：会長, 事務局長) ・刑事司法ソーシャルワーク入門研修 (東京社会福祉士会主催) に出席 (9/29：職員) ・暮らしのルールブック活用セミナーに出席 (11/22：事務局長) <p><職員の資質向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO会計相談会 (主催：ふじのくにNPOセンター) を受講 (4/19：職員) ・全国NPO事務支援カレッジ総会&フォーラム (東京) を受講 (6/19-20：職員) ・研修会「消費税を知ろう・学ぼう」 (主催：清水市民活動センター) を受講 (8/29：職員) ・NPO実務講座 (主催：番町市民活動センター) を受講 (1/18：職員) ・バックオフィスリスト研修会 (主催：東大手の会 (名古屋)) を受講 (研修 7/6, 7/21, OJT 研修 10/9, 11/13, 12/11, 1/15, 2/12, 3/11：職員)
--	--	--

		<p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・IHIOE(人と組織と地球のための国際研究所)25年謝恩プログラム in 静岡 ～社会に挑む5つの原則、組織を育てる12のチカラに出席(5/26:事務局長) ・中間支援スタッフ研修～SDG'sと非営利組織(主催:ふじのくにNPOセンター)に出席(11/7:職員) ・健康保険委員研修会に出席(11/21:職員) <p>3. 障害者自立支援協議会の運営への協力</p> <p>(1) 市主催の障害者自立支援協議会に役員が委員として出席し、障がい当事者の立場から意見を具申した。また、職員が事務局として運営に協力した。</p> <p>①第27回(平成31年度第1回)協議会</p> <p>日時 令和元年7月29日(水) 14:00~16:00 会場 市役所新館17階 171・172会議室 議題 ・静岡市障がい者共生のまちづくり計画について ・専門部会の活動報告及び令和元年度活動案について ・各区の地域課題及び令和元年度活動案について ・報告事項</p> <p>②第28回(平成31年度第2回)協議会</p> <p>日時 令和2年1月31日(金) 9:30~11:30 会場 駿河区役所3階 大会議室 議題 ・静岡市障がい者共生のまちづくり計画について ・専門部会の活動実績及び今後の活動方針案について ・各区連絡調整会議の活動実績及び今後の活動方針について ・報告事項</p> <p>(2) 協議会内の部会・プロジェクトチーム(PT)に参加</p> <p>①子ども部会(部会7/8、1/24、準備会・打合せ6/7、7/4、1/23、医ケア見作業部会5/22、6/19、部会長との打合せ5/30、アンケートの内容の検討(5月)と発信8/23、その他、会議開催にあたり日程調整(5月)</p> <p>②地域移行支援部会(部会7/8)</p> <p>③地域移行支援部会ワーキンググループ会議に出席(4/26、5/24、6/27、7/15、8/22、9/26、10/24、11/28、12/20、1/30、事前打合せ6/21、12/11、1/24、2/21、)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源見学会(竜爪園:6/20) <p>④権利擁護・虐待防止部会(部会7/22、10/28、打合せ5/31、10/23、障害者虐待防止検証会議に出席3/2)</p> <p>⑤就労支援部会(部会6/14、11/17、就労移行事業所説明会「就フェス」8/8、「ゆうやけ相談会」9/27)</p> <p>⑥相談支援部会(部会8/26、9/25、12/18、3/24、打合せ5/29、12/6、12/18、3/9、ワーキンググループ会議12/5、12/18、2/19、3/2、相談支援部会とまいむ・まいむの共催の事業所訪問を受ける10/23、定例勉強会4/17、5/28、6/19、8/21、10/16)</p> <p>⑦地域生活支援部会(部会7/16、12/24、移動支援に関する打合せ9/24、移動支援ワーキンググループ会議</p>
--	--	---

		<p>10/17、12/9、1/30)</p> <p>(3) その他</p> <p>①障害者福祉課地域生活支援係との打合せ (4/15、1/8)</p> <p>②運営会議 (6/13)</p> <p>4. 地域移行・地域定着の促進の取組</p> <p>(1) 触法障害者の地域定着支援 (金銭管理 (月に3回) 等)</p> <p>(2) 静岡TSネットの活動への協力</p> <p>静岡刑務所の見学及び意見交換会に出席 (12/23: 会長、事務局長、職員)</p> <p>(3) 関係する機関の会議等への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援部会ワーキンググループ会議に出席 (再掲 4/26、5/24、6/27、7/15、8/22、9/26、10/24、11/28、12/20、1/30) ・出所者等社会復帰連絡協議会 (主催: 静岡保護観察所) に出席 (11/26: 会長、事務局長) ・第9回権利擁護懇話会 (主催: 県司法書士会) に出席 (1/20: 会長) <p>5. 権利擁護・虐待の防止</p> <p>※詳細は「4 障害者虐待防止センター事業」参照</p>
<p>3 障害者相談支援推進事業</p>	<p>基幹相談支援センター以外の相談支援について、全体的、網羅的に対応し、相談員を配置して総合的な相談支援にあたる。</p>	<p>1. 障害者110番事業</p> <p>(1) 相談業務</p> <p>①開設時間 (月～金曜日 午前9時～午後5時)</p> <p>②障がい別相談と担当団体 (午前10時～午後4時)</p> <p>火曜 知的 育成会 (静岡・清水)、重心守る会</p> <p>水曜 身体 肢体 (清水)、体幹、視覚</p> <p>木曜 精神 心明会、しいの木</p> <p>③障がい別相談員 延べ164名 (95日間)</p> <p>(2) 相談の概要</p> <p>①相談件数 計360件 (市内345、市外26、不明2)</p> <p>②障がい種別 身体12件 (肢体3、視覚9)、知的123件、精神58件、発達14件、重複151件、その他1件、不明1件</p> <p>(3) 110番相談員活動強化事業</p> <p>①障害者110番相談員研修会 (静岡市身体障害者・知的障害者相談員研修会と同時開催)</p> <p>日程: 7月25日 (木) 10:00～12:00</p> <p>会場: 市役所本館3階 第3委員会室</p> <p>内容: ・委嘱状伝達及び行政説明 (市障害福祉企画課)</p> <p>・講演 テーマ 地域福祉の推進と障害者相談員に期待される役割</p> <p>講師 渡邊英勝氏 (静岡福祉大学福祉心理学科准教授)</p> <p>2. 地域生活及び社会参加推進事業</p> <p>(1) 障がい者等の芸術・文化活動およびスポーツの推進</p> <p>①第34回障害者による書道・写真全国コンテスト応募取りまとめ (再掲)</p> <p>②シニアクラブ葵区・駿河区合同作品展 (11/19-24) 応募取りまとめ、搬入、展示、撤収 (再掲)</p>

		<p>(2) 障がいについての理解促進、普及啓発活動の推進</p> <p>①心のバリアフリーイベント（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会に出席（5/29、9/2） ・弁護士相談の開催について県弁護士会と連絡調整 <p>※イベント（3/28）は新型コロナウイルス感染予防対策のため中止</p> <p>3. 障害者相談員活動強化業務（新規事業）</p> <p>(1) 障害者相談員研修会の実施</p> <p>①全体研修会</p> <p>日程：7月25日（木）10：00～12：00 会場：市役所本館3階 第3委員会室 内容：・委嘱状伝達及び行政説明（市障害福祉企画課） ・講演 「地域福祉の推進と障害者相談員に期待される役割」 講師 渡邊英勝氏（静岡福祉大学福祉心理学科准教授）</p> <p>②障害別研修会</p> <p>日程：10月11日（金） 会場：静岡市地域福祉共生センター「みなくる」 内容：・事例紹介 ・講演 「発達障害の特性と支援」 「フレームワークを活用したアセスメントとプランニング」 講師 水野 敦之 氏（自閉症支援・コンサルタント）</p> <p>(2) 活動に関する報告書等の内容確認の実施</p>
<p>4 障害者虐待防止センター事業</p>	<p>障害者虐待の通報を受理し、関係機関と連携し、障害者及び擁護者に対する相談・指導・助言を行なう。当事者の視点で本人の人権を守り、権利を擁護する。</p>	<p>1. 障害者虐待防止センターの設置・運営</p> <p>(1) 開設時間（24時間 365日） 平日（月～金）9時～17時 職員が対応 上記以外 携帯電話に転送、職員が対応</p> <p>(2) 対応件数 計90件 延べ人員 54人（うち実人員34人）</p> <p>2. 虐待関連の会議（コア会議、ケース会議）に出席</p> <p>(1) 虐待対応会議への出席（7回） (2) 虐待コア会議に出席（26回） (3) その他 障害者虐待事例検証会に出席（3/19、事前打合せ3/2：会長、事務局長）</p> <p>3. 虐待防止の啓発</p> <p>(1) 自立支援協議会の権利擁護・虐待防止部会の開催（7/22、10/28、打合せ5/31、10/23、障害者虐待防止検証会議に出席3/2）（再掲）</p> <p>(2) 障害者虐待防止研修会の実施 （相談支援職員研修会等と同時開催） 日程：講演会／10月11日（金） 会場：静岡市地域福祉共生センター「みなくる」 内容：・事例紹介 ・講演「発達障害の特性と支援」 「フレームワークを活用したアセスメントとプランニング」</p>

		<p>講師 水野 敦之 氏 (自閉症支援・コンサルタント) 参加者：200名</p> <p>(3) 静岡市障害者虐待防止講演会 3月16日に開催予定であったがコロナウイルス感染予防のため中止</p> <p>4. 講演会の講師 (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム「はちがや園」職員虐待防止研修会 (5/10・17) ・わらしな学園職員向け虐待防止研修 (10/1)
5 生活保護 精神障害 者退院支 援業務	生活保護法に規定する被保護者のうち、精神科病院に入院している精神障害者に関する地域移行、社会参加を促進する	<p>1. 事業内容の周知と連携 連携会議に出席し、3区の専任相談員からの活動状況報告を受け、精神障害者の地域移行の課題等の把握に努める</p> <p>(1) 関係者会議 日程 7月11日 (水) 14:00~16:00 議題 ・退院支援プログラムについて ・平成30年度の支援結果について ・令和元年度の支援について ・意見交換</p> <p>(2) 自立支援協議会の地域移行支援部会に出席 (7/8:会長)</p> <p>(3) 地域移行支援部会のワーキンググループ会議に出席 (再掲) (4/26、5/24、6/27、7/15、8/22、9/26、10/24、11/28、12/20、1/30、事前打合せ 6/21、12/11、1/24、2/21、社会資源見学会 (竜爪園) 6/20:会長、職員)</p> <p>(4) 退院後支援の事例検討会議 (精神保健福祉課主催) ・事前打合せに出席 (10/23:会長、職員)</p> <p>(5) 「精神障害者地域連携会議」(精神保健福祉課主催:退院支援代表者会議) に出席 (11/5:牧野)</p> <p>2. 事業対象者への支援の検討 関係者の連絡会にて事業対象者の選任、事業の進め方を検討し、退院支援の状況を確認する</p> <p>3. 直接支援 各区の生活支援課から提供される対象者名簿と現在の連携会議の生活保護受給者から支援の対象者を選定し、6名を支援したが、結果としては対象者計6名のうち、退院に繋がった方はなかった。</p>
6. 地域生活支 援ネット ワーク相 談支援コ ーディネ ーター配 置業務	障害児者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築する、地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」の機能のうち、相談支援を調整するコーディネーターを配置する。	<p>1. 地域生活支援ネットワーク相談支援コーディネーターの配置</p> <p>(1) 配置時間: 平日 (月~金) 10時00分~16時00分</p> <p>(2) 人 員: コーディネーター2名 (うち、1名は兼務)</p> <p>(3) 配置場所: 地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」 (清水区楠150番地 百花園宮前ロッチ)</p> <p>(4) その他: 地域生活支援拠点相談調整コーディネーターの打合せ (4/12)</p> <p>2. 事業の概要</p> <p>(1) 「相談」機能調整コーディネーター業務</p> <p>① 静岡市障害者自立支援協議会との連携 自立支援協議会や連絡調整会議に参加し、連携を図る。</p>

		<p>〔葵 区〕 4/9、5/14、6/11、7/9、8/13、9/10、10/8 11/12、12/10、1/14、2/10、3/10</p> <p>〔駿河区〕 4/9、5/14、6/11、7/9、8/6、9/10、10/15 11/12、12/10、1/14、2/15、3/10</p> <p>〔清水区〕 4/10、5/15、6/12、7/5、8/14、9/11、10/9 11/13・28、12/11、1/8、2/12、3/11 ※連絡調整事務局会議を含む</p> <p>〔全市調整会議〕 6/25、12/24</p> <p>〔自立支援協議会〕 7/29、1/31</p> <p>②静岡市東部地域（旧由比町・蒲原町）における「高齢・障がい・児童包括型」相談支援体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と清水区連絡調整事務局会議にて意見交換 ・静岡市東部地域（由比・蒲原）障がい者無料相談会 日時：第1回 10月29日 10:00～16:00 第2回 1月21日 10:30～15:30 会場：蒲原生涯学習交流館 相談件数：第1回／3件、第2回／3件 ・地元の社会福祉施設との意見交換・施設見学 ・医療・福祉・司法なんでもかんでも相談会の参画（6/8、9/14、11/9、2/1） <p>③委託相談支援事業所等で長期化する課題の調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整事務局会議において、関係機関と意見交換 ・事例の数 16事例（延べ42件） <p>(2)「専門性」機能調整コーディネート業務</p> <p>①相談支援専門員アセスメント研修の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（通算2回目） 日程：6月3日（月）13:30～16:45 会場：アイセル21 内容： <ul style="list-style-type: none"> ・講話「目標指向型アプローチの視点について1」 本研修スーパーバイザー：静岡福祉大学特任教授（愛知教育大学 名誉教授）増田樹郎先生 ・グループワーク（高齢者と障がい者が同居している家庭のケース） ・第2回（通算3回目） 日程：7月19日（月）13:30～16:45 会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ 内容： <ul style="list-style-type: none"> ・講話「目標指向型アプローチの視点について2」 本研修スーパーバイザー：増田樹郎先生 ・グループワーク（多職種と連携をとるのに非常に時間がかかったケース） ・第3回（通算4回目） 日程：元年9月6日（金）13:30～16:45 会場：アイセル21 内容： <ul style="list-style-type: none"> ・講話「目標指向型アプローチの視点について3」 本研修スーパーバイザー：増田樹郎先生 ・グループワーク（家族が障害者・高齢者・ひきこもりの家庭への支援）
--	--	---

		<ul style="list-style-type: none"> • 第4回（通算5回目） 日程：元年11月1日（金）13：30～16：45 会場：静岡市民文化会館 内容： <ul style="list-style-type: none"> • 講話「目標指向型アプローチの視点について4」 本研修スーパーバイザー：増田樹郎先生 • グループワーク（児童発達支援センターの事例） • 第5回（通算6回目） 日程：2年1月10日（金）13：30～16：45 会場：アイセル21 内容： <ul style="list-style-type: none"> • 講話「目標指向型アプローチの視点について5」 本研修スーパーバイザー：増田樹郎先生 • グループワーク（静岡市暮らし・しごと相談支援センターの事例） • 参加者：各回40名～50名 ②相談支援部会等との連携 <ul style="list-style-type: none"> • 相談支援部会（ワーキンググループを含む）への参加 • 自立支援協議会や連絡調整会議に出席し、意見交換 • 小規模または新規開設の計画相談事業所を訪問し、運営上の課題を整理検討した。（22事業所） ③地域の実情・背景に則した研修 <ul style="list-style-type: none"> • 静岡刑務所の見学及び意見交換会に出席（12/23） ④医療ケア児等支援コーディネーター研修にファシリテーターとして出席（12/4-5） ⑤清水在宅医療・介護・福祉連絡会に出席（2/14） ⑤高齢介護事業所との情報共有・利用者との交流 <ul style="list-style-type: none"> • デイサービスウィズ（葵区）を訪問 (3)ネットワーク会議等の開催、事業者・関係者との連絡調整業務等 <ul style="list-style-type: none"> ①地域生活支援ネットワーク『まいむ・まいむ』ネットワーク会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク会議の開催 第1回 日時：9月24日（火）13：30～15：30 会場：静岡市中央福祉センター 内容：地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」の進捗状況について（報告） <ul style="list-style-type: none"> • 静岡市自立支援協議会 地域生活支援部会の報告 • サービス調整コーディネーターの報告 • 相談調整コーディネーターの報告 • 多職種連携・事例検討会について 参加：78名 ※第2回（3/26）は新型コロナウイルス感染予防のため資料配布のみ ②地域生活支援部会の開催 <ul style="list-style-type: none"> • 第1回 日時：7月16日（金）10：00～12：00 会場：百花園宮前ロッヂ 内容： <ul style="list-style-type: none"> • ヘルパー向けガイドブックの配布について • 強度行動障がい関係の研修について
--	--	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援ヘルパー養成研修・移動支援の利便性の向上について ・地域生活支援ネットワークの運営会議について ・「地域生活支援ネットワーク会議」開催に向けての協議 <p>・第2回 日時：12月24日（金）10：00～12：00 会場：百花園宮前ロッチ 内容：・強度行動障がい者支援拠点事業の実施状況の報告 ・サービス調整コーディネーター・相談調整コーディネーター業務の進捗状況について ・移動支援ワーキンググループの活動報告 ・第2回地域生活支援ネットワーク会議の開催に向けての協議 ・各部会員（行政含む）からの提案連絡事項について</p> <p>③関係機関との情報共有・会議への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所・関係団体の訪問・情報共有 ・自立支援協議会子ども部会への参加（7/8、1/23） ・業種別連絡協議会への参加 <ul style="list-style-type: none"> a 清水区放課後デイ連絡協議会（6/14、7/19、9/20、11/15、12/13、1/17） b 駿河区・葵区放課後デイ連絡協議会（5/16、9/26、11/12） c 児童発達支援事業所連絡会（1/29） ・関連機関団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> 静岡県立大学「ふじのくに」みらい共育センター（COC）「みなくる」（COC 受託事業：葵区南八幡町）と連携し、映画会と「福祉のお店」のコラボレーションを企画した。 <p>④教育機関との連携（一部再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育連携会議 福祉部会（11/1） ・支援学校における放課後等デイサービスの送迎状況の把握 ・静岡北特別支援学校の進路勉強会（テーマ：相談支援の現場から見た児童・青年期から準備する「生活力」）（2/21）
--	--	---